

## 平成 21 年度 学校評価実施報告書

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ホームページの更新を適宜行い、文書と平行して保護者等へ情報を発信することができた。</li> <li>② 前年度の学校評価をふまえた目標が設定できており、取組も良好である。</li> <li>③ それぞれの分掌は正しく機能しているが、委員会等が多いこともあり連携が上手く取れないこともあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 更に学校の教育目標・教育活動を分かりやすく情報発信していく。</li> <li>② 開かれた学校づくり委員会を活用し、ありのままの姿を正しく評価しながら、改善を進める。</li> <li>③ 校務分掌を見直し、職員間の良好な信頼関係をもとに分掌間の連携、組織力の強化を図る。</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 初任研での公開研究授業、管理職による授業評価を実施した。ともに高い評価がなされた。</li> <li>② 2年次の9科目選択授業、3年理系の数学の少人数授業を実施した。進路希望に応じた科目選択、習熟度に応じた授業を展開できた。</li> <li>③ 授業評価に関するアンケートを11月に行った。保護者からの「きめ細かい指導」についての評価が高かった。生徒では、学習時間の少なさが浮き彫りにされた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① お互いの授業を参観できる余裕のある業務体制づくりが望まれる。(教職員が忙しすぎる。)</li> <li>② 理系クラスや選択科目における少人数指導を有意義なものとするために、次年度のコースや科目選択をする際の進路指導や教科指導にも留意したい。</li> <li>③ アンケートの結果、家庭学習が不足していることが判明したので、通常の授業の中で課題・レポートなど家庭学習を促進させる方策を考えて実施していくことが望まれる。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 全職員で登校指導を実施しているが、昨年度に比べて秋以降の遅刻者が急増している。</li> <li>② 教育相談・個人面談のより一層の充実が望まれている。</li> <li>③ 12月に薬物防止教育(ビデオ視聴)を実施した。</li> <li>④ 9月末に交通安全講話を実施しているが、自転車の乗車マナーに対する苦情は減らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各学年で対策を検討し基本的な生活習慣を身につけさせる為にも生徒への個別指導が望まれる。</li> <li>② 生徒一人ひとりと十分に話し合える時間の確保が望まれる。</li> <li>③ 継続的に指導する必要がある。また、携帯電話の使い方も人権に関わってくるので継続的な指導が必要である。</li> <li>④ 自転車の乗車マナーの向上には、生命に直接関わることなので、より良い方法で指導していきたい。</li> </ul>
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の進路希望実現に向けてよく努力しているという回答は、教職員 75% 保護者 54% で、約 20% の開きがあった。</li> <li>② 1学年は年4回(10月職業理解講話等)、2学年は年6回(12月上級学校模擬授業、3月上級学校ガイダンス等)、3学年は年8回(5月専門学校ガイダンス、7月推薦入試説明会、9月面接ガイダンス等)を実施した。</li> <li>③ 各種ガイダンス等の有効な対策が取られているという回答は、教職員 84% 生徒 56% と約 30% の開きがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 進路に関する情報が保護者にうまく伝わっていないようなので、プリント等で連絡を密にする。</li> <li>② 上級学校ガイダンス等学年をまたいで行われるものは、会場の確保やプロジェクターの用意など事前準備を綿密に行う必要がある。また、3年間の段階的継続的な指導が行えるように計画を立てる。</li> <li>③ 生徒はガイダンスの重要さにあまり気づいていないので、事前指導と意識づけに重点を置く。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① LHR に計画性があると感じる教職員は7割程度である。一方、生徒の8割強が HR 活動での自分の役割を理解でき、保護者の8割強が学校へ肯定的な意見であることから豊かな人間関係作りは構築できていると考えられる。</li> <li>② リーダー性・自主性を育成しようとする教職員が7割弱である。また、生徒の6割弱はクラスがまとまるように心掛けている。このことから社会の一員としての意識は低いことが明らかになる。</li> <li>③ 各行事への取り組みに関して生徒の6割強、保護者の9割弱が肯定的な意見である。また、教職員の9割弱が参加指導を肯定しているので、この点に関しては充実していると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① LHR の計画的な実施。自主性・リーダー性を育成するために生徒自らが運営する HR 活動の実施。</li> <li>② クラスがまとまるように心掛けている生徒の割合が低いので周囲の状況を理解できる力の育成と自制心の養成が必要である。また、HR 活動の意義を生徒と教職員が再認識する必要がある。</li> <li>③ この状態を維持できる学校体制の維持</li> </ul>
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ② インフルエンザによる学級閉鎖により第1学年総合的な学習の計画を変更、「国際理解セミナー」を中止した。</li> <li>③ 5月、10月に授業公開を行い、延べ180人の参加があった。10月の参加者が少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ② 今年度のようなインフルエンザによる行事の延期・中止は仕方がなかった。</li> <li>③ 10月の授業公開の案内を文書で通知しているがHPの活用も検討したい。</li> </ul>

学校評価の公表について (手段・時期等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校通信（3月発行）で保護者に公表する。</li> <li>・3月15日から、ホームページをアップし、学校評価等を公表する。</li> </ul>
-------------------------	---

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ホームページの更新の回数を増やしてほしい。自校の生徒はHPをあまりみていないようだが中学生は高校のHPを活用している。学習、生活、部活等がわかりやすくなっていてありがたい。</li> <li>②学校に特色があるという点で、生徒と保護者のとらえ方にギャップがあった。</li> <li>③今年度の学校評価の結果をふまえ、次年度の目標を設定しより良い取組に期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ホームページの内容をさらに充実させ、更新の回数を増やしていく。</li> <li>②本校の特色を様々な機会をとらえて広報活動をする。</li> <li>③分掌の見直し、分掌と委員会の連携し組織力の強化を図る。</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指導方法の工夫により、学習意欲の向上を図ってほしい。</li> <li>②これからも進路希望に応じた科目選択、習熟度に応じた授業展開、少人数授業を実施してほしい。</li> <li>③先生方の授業への思いと生徒の受け取り方にギャップがあると思う。生徒の学習時間不足は問題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①管理職による授業評価により的確な評価がなされた。公開研究授業を実施する余裕を作りたい。</li> <li>②少人数授業などは教員の人数のこともあるができる教科は取り組みたい。</li> <li>③家庭における学習時間の少なさを改善する取り組みが必要である。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①交通事故という点で、登校時も心配ですが、下校時も心配です。</li> <li>②教員と生徒の関係はうまくいっているようで安心である。</li> <li>③薬物に関わる生徒はいないようだが継続して薬物防止教育を実施してほしい。</li> <li>④自転車の乗車マナーの向上の為、地域でも協力したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①登校指導期間中はできているが、継続的に全職員でいろいろな場面で指導する必要がある。</li> <li>②保護者面談週間は実施しているが、生徒面談週間の検討も必要である。</li> <li>③12月に体育館で実施した。教育効果を上げる為実施時期も検討したい。</li> <li>④交通安全講話は年1回であるが、継続して機会を捉えて指導する必要がある。</li> </ul>
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の進路希望実現に向けての取り組みの評価に、教職員と保護者・生徒の間に開きがある。</li> <li>②3年になると進学補習等充実していると思う。生徒は2年生から進学補習を開始してほしいのではないだろうか。（部活動の関係もあるだろうが）</li> <li>③各種ガイダンス等の有効な対策が取られているという回答は、教職員と生徒との開きがあるので次年度に対策を願う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①左記の原因と改善策を考える為、アンケートの内容を検討したい。</li> <li>②2年生からの進学補習は、部活動と関係もあるので教職員の共通理解を構築する必要がある。</li> <li>③各種ガイダンス等がどのような教育効果があるのか生徒に十分に理解させる必要がある。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①LHRの年間計画をHPで公開してはどうか。</li> <li>②社会の一員としての意識をしっかりとて人間になってほしい。</li> <li>③北斗祭、合唱コンクールは毎年充実し、千葉北高校の特色の一つである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒に年間計画を示しながら計画に基づいてLHRを実施していきたい。</li> <li>②HRの一員であると感じられるよう各学校行事において役割分担をさせる。</li> <li>③本校の特色である北斗祭、合唱コンクールを充実したものとなるよう計画的に指導したい。</li> </ul>
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①②今年残念であったが、「国際理解セミナー」をこれからも継続して実施してほしい。自国を理解したうえで他国を理解してほしい。</li> <li>③10月の授業公開の参加者が少ないようなので対策が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①②今後も国際理解教育の推進は本校の重点目標の一つとしたい。</li> <li>③授業公開の広報の仕方とその内容等をもっと検討したい。</li> </ul>